

宮崎議員（自民議連）

令和2年2月28日
教育長答弁実録
(教育委員会)

(問) ものづくり教育の質の向上策について

工業高校における現場課題をしっかりと吸い上げ、一つ一つ解決につなげていく細やかな取組が必要と考えるが、ものづくり教育の質の向上に向けたこれまでの取組と、現段階での課題認識、また今後に向けた意気込みを、教育長に伺う。

(答)

ものづくり教育の質の向上に向けましては、「ものづくり人材育成日本一プロジェクト」の実施により、ものづくりの基礎的・基本的な技能や高い技能の習得、ものづくりに対する情熱や積極性・探究心の育成に取り組んでおります。

この取組等により、工業科を設置する高等学校を卒業した生徒の直近3年間の就職状況は、就職者のうち、約8割が県内の企業に就職しており、広島県内のものづくりを担う人材を輩出しております。

これからのものづくり教育におきましては、産業のグローバル競争の激化、情報技術の技術革新の開発が加速することなどを踏まえ、その時代に必要な専門的な知識と技術を生徒に習得させることや、専門性の高い教員の確保と育成が必要であると考えております。

教育委員会といたしましては、高い技能を有し、ものづくりに対する「情熱」や「探究心」などを有した、新たな時代のものづくり産業を支えることができる人材の育成に努めてまいります。